ジョン・クリステンセン氏来日記念講演

パナマ文書問題～不平等社会の克服に向けて、国際的な税逃れの実態と対策を考える

パナマ文書が流出し、世界の富裕層や大企業などが、パナマなどのタックス・ヘイブン（租税回避地）を利用して租税逃れや財産隠しをしている実態の一部が暴露されました。

日本国内では、財源がないことを理由に、医療、介護、年金、生活保護等幅広い分野で社会保障の削減が進められています。

タックス・ヘイブンを利用できる一部の富裕層等には巨額な税逃れの抜け道を残し、庶民に対しては厳しく課税しつつ社会保障は削減するとなれば、格差と貧困は、これまで以上に拡大するばかりです。

当連合会は、社会保障の削減が進み、所得再分配機能が弱まる中で、生存権の保障が脅かされている「不平等社会」の克服が喫緊の課題であるとし、その対策を求めてきたところです。

今回、タックス・ヘイブン問題に先駆的に取り組んできた国際的な市民団体「タックス・ジャスティス・ネットワーク」代表のジョン・クリステンセン氏がイギリスから来日されるのを機に、不平等社会の克服に向けて、国際的な税逃れの実態と対策について、みなさんと一緒に考えたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしています。

JFBA 日本弁護士連合会

記念講演

「パナマ文書問題～国際的な税逃れの実態と対策」

ジョン・クリステン氏（タックス・ジャスティス・ネットワーク代表）

（日本語通訳あり）

タックス・ヘイブン問題の第一人者
ジョン・クリステンセン氏

＊タックス・ジャスティス・ネットワークとは

租税を回避するタックス・ヘイブンの監視をするため、専門家、リサーチャー、ジャーナリスト、様々な市民団体等との世界的なネットワークを持ち、公正な租税措置を世界に広めるための継続的な取組をしている国際的な市民団体

参加費・事前申込不要

2016年10月26日（水）
18:30～ 20:30

弁護士会館2階講堂「クレオ」BC

アクセス（交通案内）
地下鉄丸ノ内線 霞ケ関駅（B1-b出口）から徒歩1分
地下鉄日比谷線 霞ケ関駅（B1-b出口）から徒歩1分
地下鉄千代田線 霞ケ関駅（B1-b出口）から徒歩1分
地下鉄有楽町線 桜田門駅（5番出口）から徒歩8分
地下鉄日比谷線 日比谷駅（A14、A10出口）から徒歩10分
地下鉄千代田線 日比谷駅（A14、A10出口）から徒歩10分
都営三田線 日比谷駅（A14、A10出口）から徒歩10分

※当連合会では，本シンポジウムの内容を記録し，また，成果普及に利用するため，会場での写真・映像撮影及び録音を行っております。撮影した写真・映像及び録音した内容は，当連合会の会員向けの書籍のほか，当連合会のホームページ，パンフレット，一般向けの書籍等にも使用させていただくことがあります。また，報道機関による取材が行われる場合，撮影された映像・画像はテレビ，新聞等の各種媒体において利用されることがあります。撮影をされたくない方は，当日，担当者にお申し出ください。

主催：日本弁護士連合会　お問い合わせ：日本弁護士連合会人権部人権第一課　TEL03-3580-9857